

次世代のコミュニケーションツール「絶対リーチ！RCS」
一か月で「導入社数30社」を突破！
～パルシステム様のインタビュー記事をご紹介します～

AI CROSS株式会社(本社:東京都港区、代表取締役CEO:原田 典子、以下「AI CROSS」)は、当社が提供する次世代のコミュニケーションツール「絶対リーチ！RCS」の導入社数が、2024年10月末時点で30社を突破したことをお知らせします。

絶対リーチ！RCS

■絶対リーチ！RCSについて

近年、企業とユーザーとのコミュニケーションにはさまざまな課題が指摘されています。電話に対する苦手意識や、メール開封率の低さ・ブロック機能、アプリ登録のハードルなど、従来のコミュニケーションツールでは双方にストレスが掛かっていました。また、郵送業務の人的コストや料金の高騰などの問題も浮上しています。

このような背景から、AI CROSSは次世代のコミュニケーションソリューション「絶対リーチ！RCS」を提供しております。RCS(Rich Communication Service)とは、SMSの次世代規格で、電話番号のみでやり取りができ、画像や動画といったリッチコミュニケーションが可能です。

今後もAI CROSSは企業とユーザーとの安心安全で利便性の高いコミュニケーションを提供して参ります。

■絶対リーチ！RCSの強み



絶対リーチ！RCSの概要はこちら ▶ <https://aicross.co.jp/zettai-reach-rcs/>

※1: RCSやSMSとWebチャットボットを組み合わせ、配信できる機能。Webチャットボットはノーコードで作成可能。2024年9月現在、国内SMS会社の中で初。当社調べ。

※2: RCSとSMSを4種類のパターンで送り分けができ、利便性高いメッセージ配信ができる機能。2024年9月現在、国内SMS会社の中で初。当社調べ。

特徴:企業とユーザーの「安心安全なやり取り」



①企業の公式アカウントを発行

メッセージ送信元は企業名やサービス名を設定でき、認証バッジが付与されます。キャリアにて認証を受けた企業のみが利用できるため、なりすましの心配が一切ありません。

②高いカバレッジ

SMS同様「電話番号のみ」でユーザーにメッセージ配信が可能です。アプリや会員登録のハードル無く、多くのユーザーに情報を届けられます。

③視認性の高さ

企業・サービスのロゴ画像を設定、企業ページの背景のカスタマイズなどができ、一目で公式であることが伝わります。

特徴:企業とユーザーの「リッチなコミュニケーション」



④リッチコンテンツ

SMSではできなかった画像・動画が配信可能となるため、ファーストビューにおける「視覚的な訴求力」が劇的に高まります。

⑤長文配信、リッチカード・カルーセル

テキストで最大2,730文字まで送信可能です。リッチカード・カルーセルで、画像・テキスト・リンクをセットにしたビジュアル訴求が可能なのと、既読・クリック率を測定でき、反応率を向上することが可能です。

⑥緻密な開封確認

ユーザーごとに「メッセージの既読・未読」を確認でき、状況に合わせた次の施策を実行することが可能です。ユーザーの状態に合わせた施策のネクストアクションを実施可能です。

お客様の声

pal*system

パルシステム千葉

1. 貴社の事業について教えてください

私たちの事業は、パルシステム千葉の組合員に商品の供給から夕食の宅配、家事支援、介護事業、そして店舗事業まで幅広く手がけています。

2. 「絶対リーチ！RCS」に決めた理由は何ですか？

組合員とのコミュニケーションツールは、主に電話やメールを活用していましたが、より手軽に、速やかにコミュニケーションが取れるツールを探しておりました。

「絶対リーチ！RCS」を選んだ理由は、公式アカウントからの配信であるという安心感と、RCSの開封確認機能が大きな魅力です。例えば、災害が発生した時や、何かしらのトラブルで配送が遅れる情報をメールやSMSで発信したとき、その情報が組合員に届いているか、お伝えしたい内容を確認していただいたか、分からないという問題がありました。しかし、RCSなら、未開封であった組合員に対して直接電話をかけるなど、細やかなコミュニケーションが実現できるようになると考えており、組合員との新たなコミュニケーションツールになるのではないかと期待しています。

3. どのような効果や期待を持っていますか？

絶対リーチ！RCS」に搭載されているチャットボットを活用して簡単なFAQを提供する、組合員の声を収集して改善につなげる、ビジュアル訴求でホームページにシームレスに遷移させるなど、多様な使い方が可能になると期待しています。また、メールは連絡ツールとして残ると思いますが、組合員がメールアドレスを変更した場合、メールが届かなくなる問題があります。その点、RCSは電話番号宛に配信するため、メールよりも組合員に情報が届けられるのではないかと考えており、コミュニケーションの課題解決につながる点も期待しています。

代表取締役CEO 原田 典子



慶應義塾大学卒業後、SAPへ入社。コンサルタントとして働いた後、ベンチャー企業へ転職し、米国法人設立のために2000年に渡米。シアトル、サンノゼ、NYで10年ほど米国のマーケティング、提携・アライアンス業務などに幅広く携わる。出産を機に帰国し、2015年3月、AI CROSS創立、2019年10月には東証マザーズに上場を果たす。2021年にはCVCを立ち上げ、ベンチャー支援にも積極的に取り組む。

会社名: AI CROSS株式会社(証券コード:4476)
代表者: 代表取締役CEO 原田 典子
所在地: 東京都港区虎ノ門四丁目 3 番 1 号 城山トラストタワー 20F
設立: 2015年3月
事業内容: Smart AI Engagement事業

【本リリースに関するお問い合わせ窓口】
AI CROSS株式会社 広報担当
E-mail:pr@aicross.co.jp